

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年10月8日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年10月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【雑固体廃棄物焼却設備機械室の空調機(B)用ドレントラップの破損について】 雑固体廃棄物焼却設備機械室の空調機(B)用ドレントラップに破損、および破損部からの凝縮水の滴下を確認。ドレントラップの破損箇所をテープにて養生、および滴下水の受け容器を設置。 破損の原因は不明。 今後、当該ドレントラップを交換予定。</p>	GⅢ	10月3日
2	<p>【多核種除去設備の処理水貯槽の水位低下について】 多核種除去設備のG6-Cタンク群の処理水貯槽に水位の低下を確認。 調査の結果、当該タンク群内で連結している空状態のC5タンク、C7タンク内に溜まり水を確認。また、溜まり水の量とG6-Cタンク群の水位低下量がほぼ同量であることを確認。 その後、C5タンク、C7タンクとG6-Cタンク群との連絡弁の増し締めを行い、G6-Cタンク群の水位低下の停止を確認。 C5タンク、C7タンク内の溜まり水は、分析の結果、多核種除去設備の処理水と判明。</p>	GⅢ	10月2日
3	<p>【4号機原子炉建屋カバー設備のダストモニタ(C)用吸引装置の停止について】 4号機原子炉建屋カバー設備内のダストモニタ(C)に吸引装置用気密モータの異常を示す警報が発生し、自動停止していることを確認。 その後、気密モーターが起動出来た。現在、再現性の確認運転中。 ダストモニタ(C)が停止しても、ダストモニタ(A)、(B)にてダスト濃度の測定及び監視は可能。</p>	GⅢ	10月3日
4	<p>【リングバッチ※の計測用素子の不明について】 協力企業作業員が装備していたリングバッチ※より被ばく線量を測定しようとしたところ、協力企業2社、各1名分(計2名分)のリングバッチに計測用素子が入っていないことを確認。 当該リングバッチは、計測用素子格納部の蓋の溶着が剥離し、蓋に貼られているラベルシールが剥がれかかっていた。 原因を調査中。 当該リングバッチ装備者の等価線量の評価を実施。 ※手指の被ばくを測定するための指輪状の線量計</p>	GⅢ	10月3日